

リコーの中期経営戦略

（‘00年度版）

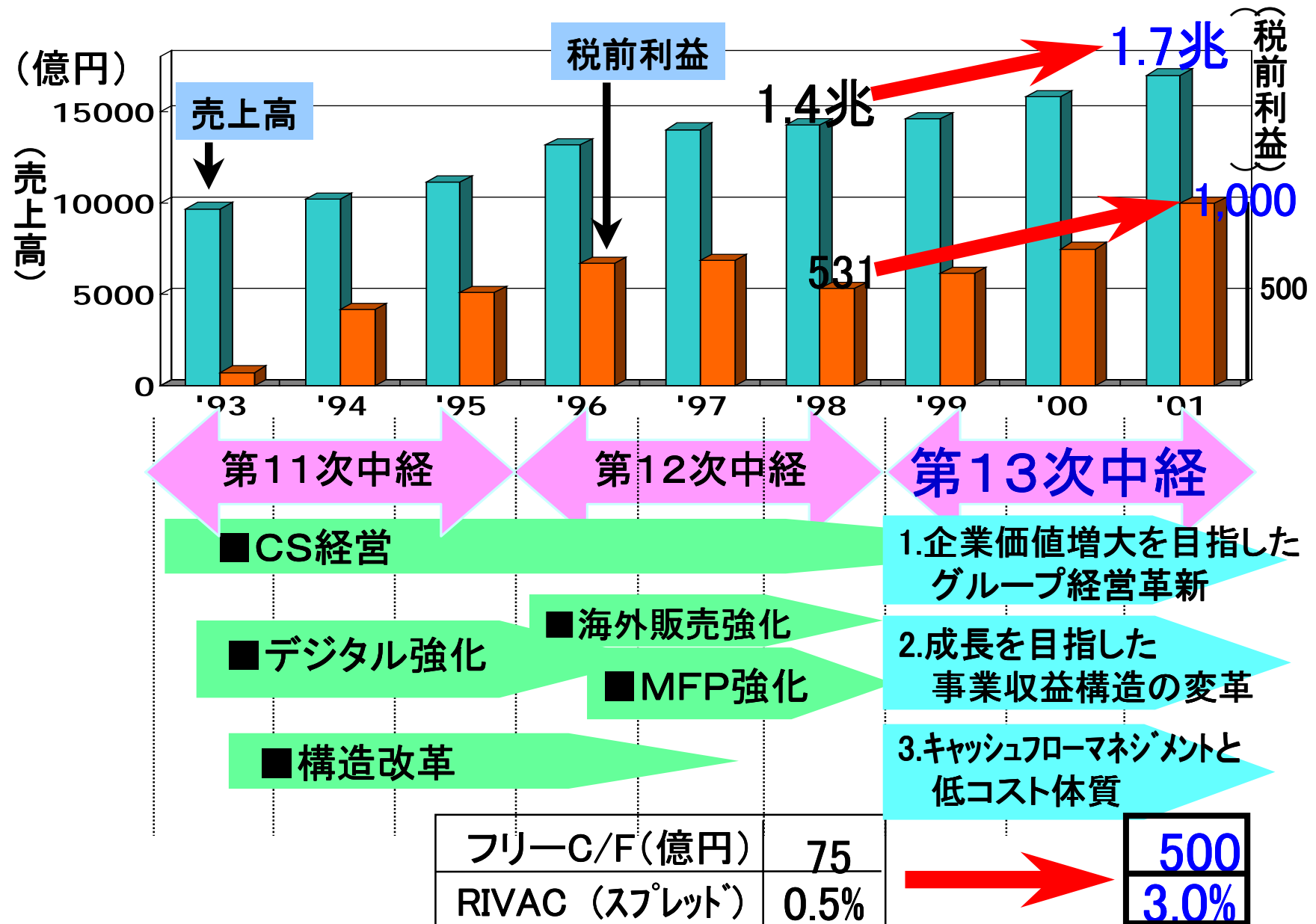
‘01年3月1日

株式会社リコー
取締役社長 桜井 正光

13次中経の展開状況

1-1. 13次中経のサマリー – 基本方針と業績計画

3



2-1. 13次中経の展開状況 ー業績①

4

(単位: 億円)

		'98	'99		'00		'01
		実績	中経	実績	中経	見通し	中経
	国内	8,209	8,568	8,731	9,006	9,400	9,540
	海外	6,050	6,333	5,739	6,794	5,700	7,460
(伸び率)		(1.6%)	(4.5%)	(1.5%)	(6.0%)	(4.3%)	(7.6%)
売上高計		14,259	14,900	14,471	15,800	15,100	17,000
(利益率)		(3.7%)	(3.8%)	(4.9%)	(4.7%)	(6.2%)	(5.9%)
税前利益		530	570	703	750	940	1,000
当期利益		306	331	419	435	530	580
フリーC/F		75	100	571	150	達成見込	500
RIVACスプレッド		0.5%	0.7%	2.4%	1.6%	達成見込	3.0%
		128円/\$	115円/\$	112円/\$	115円/\$	106円/\$	115円/\$

・'00年度見通しは、11/8中間決算発表時

2-2. 13次中経の展開状況 一業績②

5

(億円)

		98年度実績		99年度実績			00年度見通し(11/8)			01年度傾向
開示単位	主な事業内容	売上高	構成比	売上高	構成比	伸率	売上高	構成比	伸率	
デジタル画像機器	DPPC、CPPC 印刷機、FAX	4,863	34.1%	5,462	37.7%	12.3%	5,690	37.7%	4.2%	↗
その他画像	APPC、サーマル	4,679	32.8%	3,518	24.3%	-24.8%	2,870	19.0%	-18.4%	↗
画像ソリューション		9,543	66.9%	8,980	62.1%	-5.9%	8,560	56.7%	-4.7%	↗
プリンティングシステム	MFP、LP	1,089	7.6%	1,410	9.8%	29.6%	1,900	12.6%	34.7%	↗
その他I/Oシステム	MMP、スキャナ	194	1.4%	320	2.2%	64.5%	440	2.9%	37.5%	↗
ネットワークI/Oシステム		1,283	9.0%	1,731	12.0%	34.9%	2,340	15.5%	35.2%	↗
ネットワークシステムソリューション	PC、DS7アプリ UW	1,682	11.8%	1,819	12.6%	8.2%	2,030	13.4%	11.6%	↗
事務機器合計		12,509	87.7%	12,530	86.6%	0.2%	12,930	85.6%	3.2%	↗
その他事業	半導体、DC	1,750	12.3%	1,940	13.4%	10.9%	2,170	14.4%	11.8%	↗
連結売上高		14,259		14,471		1.5%	15,100		4.3%	↗
	国内	8,209	57.6%	8,731	60.3%	6.4%	9,400	62.3%	7.7%	
	米州	2,396	16.8%	2,311	16.0%	-3.5%	2,300	15.2%	-0.5%	
	欧州	2,833	19.9%	2,585	17.9%	-8.8%	2,400	15.9%	-7.2%	
	その他	820	5.8%	842	5.8%	2.8%	1,000	6.6%	18.6%	
	海外計	6,050	42.4%	5,739	39.7%	-5.1%	5,700	37.7%	-0.7%	
税前利益		530	3.7%	703	4.9%	32.7%	940	6.2%	33.5%	↗
当期利益		306	2.1%	419	2.9%	36.8%	530	3.5%	26.4%	↗

US \$: 127.98円

EURO: 143.73円

111.52円

115.35円

106.00円

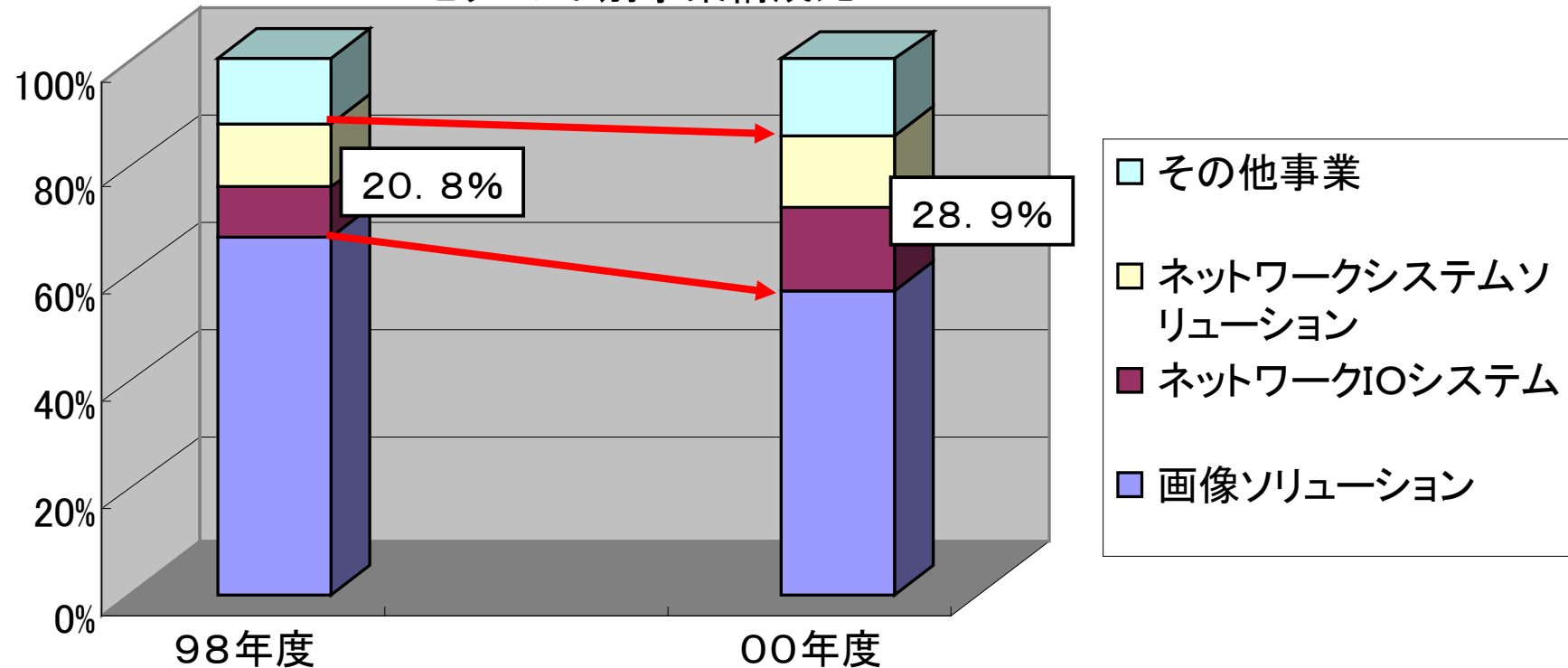
94.50円

2-3. 13次中経の展開状況 ―基本方針

“成長を目指した事業収益構造の変革”

＜事業構造の変革＞

セグメント別事業構成比

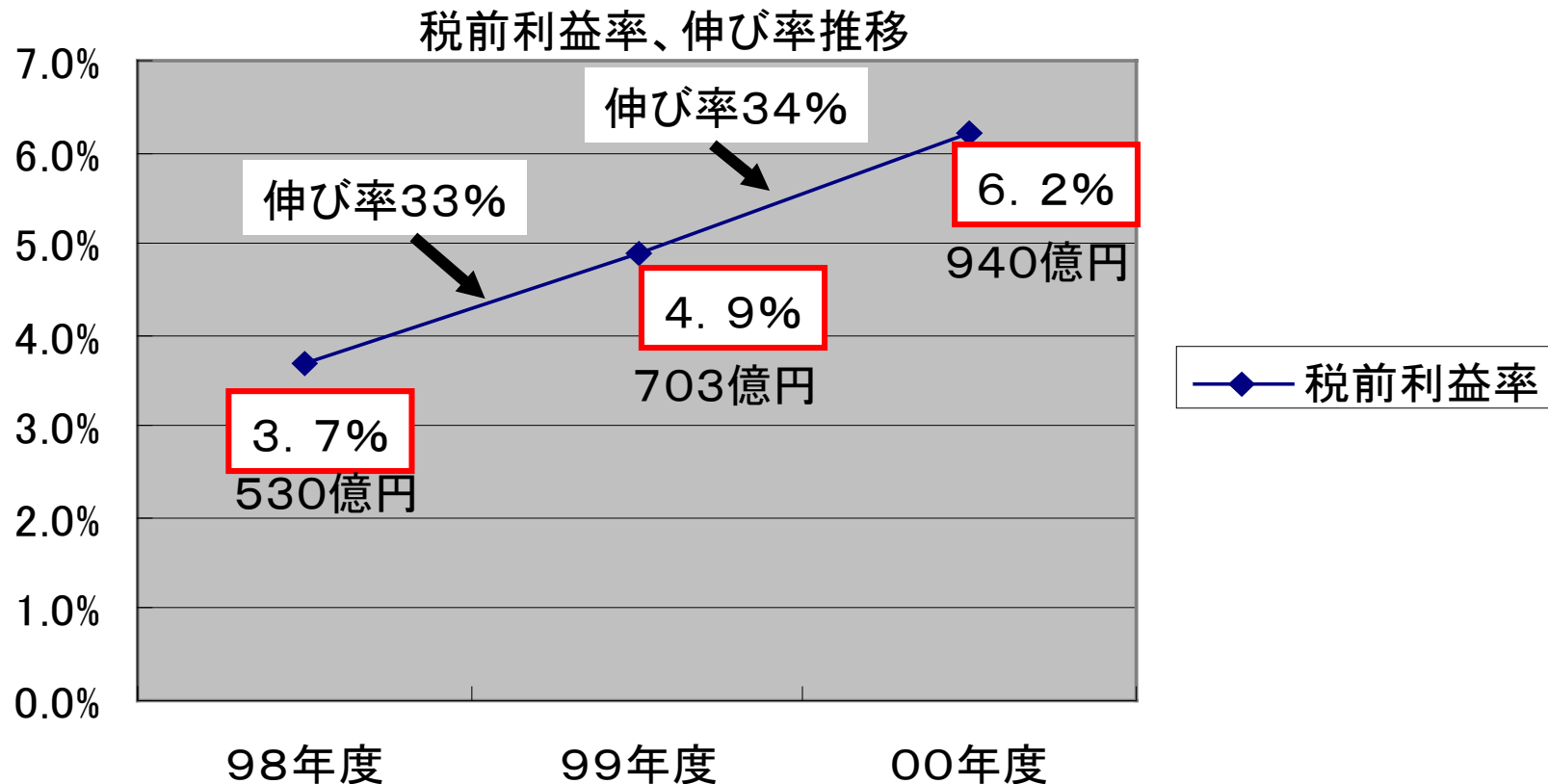


- ・画像ソリューション・・・PPC、FAX、印刷機など
- ・ネットワークI/Oシステム・・・MFP、LP、光ディスク、スキャナなど
- ・ネットワークシステムソリューション・・・ソフト、ユースウェア、PCなど

- ・ネットワークI/Oシステム＋ネットワークシステムソリューションを加えた売上構成比は、98年度20.8% →00年度28.9%(見込み) 約8ポイントの上昇。
(年平均伸び率約22%)
- ・成長分野への事業構造変革が着実に行われている。

2-3. 13次中経の展開状況 ―基本方針

＜収益構造の変革＞



・'00年度見通しは、11／8中間決算発表時

- ・連結税前利益率は、98年度3.7% →00年度6.2% 2.5ポイントの上昇。
(年平均伸び率で33%)
- ・高速機、MFPの好調、事業の選択と集中で収益構造の変革が着実に行われている。

2-4. 13次中経の展開状況 –ポートフォリオ

戦略的位置付け	定義	‘00の状況
【キャッシュ確保事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・PPC ・FAX ・印刷機 ・保守サービス ・画像サプライ 	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーグループの収益源として確実にキャッシュを創出する ・ベースとなる競争力を確保する 	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業とも確実にキャッシュを創出。 ・特にデジタル機、高速機が大きく寄与。
【戦略強化事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ ・MFP ・ネットワークシステムソリューション ・Internetサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・第13次以降の中核的事業とすべく経営資源を投入し、確実に成長させる事業 ・高収益事業モデルを確立する 	<ul style="list-style-type: none"> ・各商品とも、前年比で大きく伸長し、着実に成長。 ・特に高速機、MFPが大きく寄与。 ・プリンティングソリューションが増加傾向。
【収益改善事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・半導体 ・光ディスク ・デジタルカメラ 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略の転換や効率化により、まず収益確保を最優先する事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体は、アナログ集中、アウトソーシングの活用により黒字拡大。 ・光ディスクは、戦略見直し、アウトソーシングの活用により収益が改善。 ・デジタルカメラは、市場を特化し特色を持った機器を戦略的に投入する。